コンピュータサービス技能評価試験
ＰＣドライビング部門
試験基準及びその細目

制定　平成１７年１０月１日

カテゴリ-名	試験科目及び その範囲	細　　　　　　目	適用試験 実技	 筆記
A. ＯＳの操作スキル	１． パソコンの起動・終了の仕組みとその操作	**１．OSが起動するまでの仕組みに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）ハードウェアの仕組み （２）ソフトウェア（BIOS）の仕組み **２．OSの起動及び終了の仕組みに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）起動の仕組み ア．ブート処理 イ．ドライバ組込み処理 （２）終了の仕組み ア．稼動中プログラムに対する処理 イ．システムに関する情報の退避処理 **３．パソコンの起動と終了の操作に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）起動装置の選択 （２）検査モード（SAFEモード等）でのOS起動 （３）スタンバイ、休止、再起動及び電源切断操作 **４．パソコンの起動・終了時におけるシステム障害・診断に関し、次に掲げる知識を有すること** （１）システム障害の切分け ア．システム障害発生時の画面による診断 イ．システム障害発生時の表示ランプによる診断 ウ．システム障害発生時の装置発生音、サウンドによる診断 エ．発生状況、特殊機能を利用しての診断 （２）システム障害の対応について ア．取扱説明書（マニュアル）による対応 イ．サービスセンター（ヘルプデスク等）へのシステム障害発生状況の正確な情報伝達		○
	2. 汎用ソフトェアの起動・終了の仕組みとその操作	**１．ＯＳによる汎用ソフトウェアの管理に関し、次に掲げる事項ができること** （１）ＯＳの汎用プログラムの管理機能について ア．アプリケーションとしての管理 イ．プロセスとしての管理 （２）サービスとして稼動する汎用ソフトウェア （３）汎用ソフトウェアに対するオペレーション指示とOSとの関係について ア．汎用ソフトウェアの画面（ＧＵＩ）での操作指示 イ．汎用ソフトウェアの文字（ＣＵＩ）での操作指示 **２．汎用ソフトウェアの起動と終了の仕組みに関し、次に掲げる確認ができること** （１）汎用ソフトウェアの起動の仕組み （２）汎用ソフトウエアの終了の仕組み **３．汎用ソフトウェアの起動と終了の操作に関し、次に掲げる事項ができること** （１）起動の操作 ア．手動での起動方法の種類 イ．自動起動の設定（サービス・スタートアップの登録等） （２）終了の操作 ア．汎用ソフトウェアの持つ機能による終了 イ．OSの持つ操作機能（DOSコマンド、タスクマネージャー等）による終了	○	
	３． 電子化データとその利用	**１．パソコンが扱うデータの単位に関し、次に掲げる事項の確認等ができること** （１）容量 ア．メモリの容量 イ．各種媒体等格納容量 （ア）記憶媒体又はドライブのデータ格納容量 （イ）フォルダ及びファイルのデータ使用容量 （２）速度 ア．データ通信に係る最大情報転送速度 イ．接続装置に係る平均転送速度 ウ．CPUの処理速度 **２．プログラムが処理対象として扱うデータの利用に関し、次に掲げる事項ができること** （１）利用者が認識できるデータ利用 ア．文字データ イ．画像データ ウ．音データ （２）ファイル形式のデータフォーマット **３．プログラム本体の格納に関することができること**	○	

カテゴリ-名	試験科目及び その範囲	細　　　　　目	適用試験	
			実技	筆記
	4. ＯＳの運用・操作	１．ユーザーインターフェースによる操作に関し、次に掲げる事項ができること （１）キーボードの操作 ア．文字入力 イ．アクセスキー、ショートカットキー （２）マウス等ポインティングディバイスの操作 ア．クリック イ．ドラッグ （３）画面での操作 ア．運用対象アプリケーション選択 イ．開始メニュー選択 ウ．タスクバー ２．日本語入力操作に関し、次に掲げる事項ができること （１）入力モードの切替え （２）変換モードの切替え （３）入力方式の切替え ３．ＯＳのカスタマイズに関し、次に掲げる事項ができること （１）入力に対するカスタマイズ ア．マウスの動作の設定 イ．キーボードの動作の設定 ウ．音声ナビによる操作設定 エ．スクリーンキーボードの利用設定 （２）出力に対するカスタマイズ ア．画面の表示形態（Windowsではデスクトップメニュー）の設定 イ．サウンドの設定 ウ．音声ガイダンスの利用の設定 （３）動作環境に対するカスタマイズ ア．利用可能プログラムの追加／削除 イ．利用可能フォントの追加／削除 ウ．特殊フォルダー場所変更 エ．動作時刻の設定 オ．国別対応の設定	○	
	5. ＯＳのファイルシステムの操作	１．データ管理システムの操作に関し、次に掲げる事項ができること （１）フォルダに対する操作 ア．新規作成 イ．名称変更 ウ．削除 エ．複写 オ．移動 カ．属性の変更 （２）ファイルに対する操作 ア．新規作成 イ．名称変更 ウ．削除 エ．複写 オ．移動 カ．属性の変更 ２．データ格納に関し、次に掲げる事項の確認ができること （１）ドライブ （２）フォルダ （３）ファイル ３．電子データ等の機密の保持に関し、利用者のアクセス権による機密の保持の確認ができること	○	

カテゴリ-名	試験科目及び その範囲	細　　　　目	適用試験	
			実技	筆記
Ｂ． ソフト共通機能の活用スキル	１． ＯＳ上のアプリケーション・ソフトウェアにおける共通操作	**１．画面の表示操作方法に関し、次に掲げる事項ができること** （１）移動 （２）縦横サイズ変更 （３）表示状態変更 **２．ファイル操作方法に関し、次に掲げる事項ができること** （１）ファイルを「開く」 （２）ファイルの「上書き保存」 （３）ファイルに「名前を付けて保存」 **３．印刷処理の出力操作方法に関し、次に掲げる事項ができること** （１）プリンタの選択 （２）部数指定 （３）範囲指定 （４）マージン指定 （５）用紙サイズ指定 （６）印刷プレビュー表示 **４．ヘルプ機能とその操作方法に関し、次に掲げる事項ができること** （１）索引による参照 （２）検索による参照 **５．クリップボード利用とその操作に関し、次に掲げる事項ができること** （１）利用対象の種別について ア．テキスト イ．イメージ ウ．オブジェクト （２）操作について ア．コピー イ．切取り ウ．貼付け	○	
	２． 一般的なハードウェアの活用	**１．パソコン本体の仕様に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）CPUの仕様 （２）メモリの仕様 （３）外部装置への接続インターフェース仕様 （４）本体に装備されている装置の仕様 **２．パソコン種別に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）ディスクトップ型 （２）ノートブック型 （３）PDA **３．周辺装置に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）入・出力装置について ア．補助記憶装置として利用 （ア）ハードディスク （イ）メモリカード イ．主としてデータ保存媒体として利用 （ア）DVD （イ）CD （ウ）MO （エ）FD （２）入力専用装置について ア．データの入力装置として利用 （ア）キーボード （イ）マウス等ポインティングディバイス イ．音声入力装置（マイク等） ウ．画像等イメージ入力装置（スキャナー） （３）出力専用装置について ア．出力装置として利用 （ア）ディスプレイ （イ）スピーカ イ．出力装置（プリンタ）として利用		○

カテゴリ-名	試験科目及び その範囲	細　　　　　目	適用試験	
			実技	筆記
	3. 一般的なソフトウェアの活用	1．入力装置と連携してパソコンへデータを取り込むソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること （1）画像等イメージ及び取込み用ソフトウェアについて ア．スキャナ装置との連携 イ．デジタルカメラ装置との連携 ウ．デジタルビデオ装置との連携 （2）音声及び音源の取込み用ソフトウェアについて ア．マイク装置との連携 イ．電子楽器装置との連携 2．パソコン内の電子化データ加工用ソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること （1）ドキュメント加工用ソフトウェア ア．ワープロ関連 イ．表計算関連 ウ．プレゼンテーション関連 （2）画像イメージ、動画及び音源加工用ソフトウェア ア．画像処理関連 イ．CG処理関連 ウ．動画処理関連 エ．音源ミキシング処理関連 3．出力装置と連携してパソコンからのデータを出力するソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること （1）プリンタと連携する印刷用ソフトウェア （2）スピーカと連携する音楽及び音声再生用ソフトウェア （3）ディスプレイと連携する画像表示用ソフトウェア （4）ディスプレイと連携する動画再生用ソフトウェア 4．情報管理用及びデータ保存用のソフトウェアに関し、次に掲げる事項の知識を有すること （1）データベース関連 （2）大容量データ保存関連		○
	4. ユーティリティ・ソフトウェアの活用	1．ファイル操作ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること （1）圧縮／解凍 （2）分割／結合 （3）形式変換 （4）ファイルの暗号化 2．テキスト操作ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること （1）テキストの変換 （2）テキストの検索 （3）文字コードの処理 （4）テキストの比較 3．ディスク管理ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること （1）データ領域の最適化 （2）データ不良箇所の検査／修復 （3）データの退避 4．環境変更・表示ユーティリティの活用に関し、次に掲げる事項ができること （1）システム設定値関連 （2）システム稼動状態	○	

カテゴリ-名	試験科目及び その範囲	細　　　目	適用試験	
			実技	筆記
	5． ハードウェア及び ソフトウェアの 入手・設定・保守	**1．ハードウェア及びソフトウェアの入手に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）ソフトウェアの提供 ア．製品 イ．シェアウェア ウ．フリーウェア （2）ソフトウェアの入手手段について ア．販売店 イ．インターネット ウ．書籍等の付録 （3）ハードウェア及びソフトウェアの評価基準 ア．利用者の意見 イ．カタログ活用 ウ．ソフトウェア評価版の使用 **2．ハードウェア及びソフトウェアの設定に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）ソフトウェアの設定について ア．インストール イ．初期設定 ウ．アンインストール （2）ハードウェアの設定について ア．パソコン本体との接続 イ．ドライバのインストール ウ．添付ソフトウェアのインストール **3．ハードウェア及びソフトウェアの保守に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）ソフトウェアの保守（改訂版等更新の操作） （2）ハードウェアの保守について ア．取扱い説明書の活用 イ．最新ドライバへの更新		○

カテゴリ-名	試験科目及び その範囲	細　　　　　　　目	適用試験 実技	筆記
Ｃ． ネットワークの活用スキル	１． パソコンで利用するネットワークの基礎	**１．ネットワークの種類及び接続用機器に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）ＬＡＮ 　ア．インサーネット／ボード 　イ．ハブ （２）ＷＡＮ 　ア．ＤＳＵ、ＴＡ（ＩＳＤＮ関連） 　イ．モデム、ルータ（ＡＳＤＬ．光ファイバ関連） 　ウ．音声モデム（ダイアルアップ関連） （３）インターネット／イントラネット **２．インターネット接続契約形態に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）光ファイバ （２）ＡＤＳＬ （３）ＩＳＤＮ （４）電話モデム（ダイヤルアップ） （５）有線ケーブル（専用回線） **３．ＴＣＰ/ＩＰプロトコルに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）ローカルＩＰアドレスについて 　ア．ＩＰアドレスの表現 　イ．サブネットマスク （２）グローバルＩＰアドレスについて 　ア．ＩＰアドレスの表現 　イ．ＤＮＳ変換 **４．インターネットサービスプロトコル及びサーバの役割に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）ＨＴＴＰ・Ｗｅｂサーバ （２）ＳＭＴＰ、ＰＯＰ３・メールサーバ （３）ＦＴＰサーバ **５．インターネット網に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）アクセスプロバイダ （２）キャリア網（公衆回線等）		○
	２． ＬＡＮの活用	**１．ＬＡＮを活用したパソコンのメリットに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）リソースの共有について 　ア．ドライブの共有 　イ．フォルダの共有 　ウ．プリンタの共有 （２）ＬＡＮ対応家電製品について **２．ＬＡＮを活用したパソコンのリスクに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （１）情報セキュリティの低下 （２）システム障害発生率の増加		○
	３． Ｗｅｂブラウザの活用	**１．ブラウザの基本操作に関し、次に掲げる事項ができること** （１）Ｗｅｂページ指定操作について 　ア．ＵＲＬ直接指定 　イ．ページの移動（進む、戻る） 　ウ．ブックマーク 　エ．ハイパーリンク （２）Ｗｅｂページ操作について 　ア．再表示 　イ．エンコード表示 　ウ．拡大、縮小表示 　エ．ファイルへの保存 　オ．印刷 **２．ブラウザの設定操作に関し、次に掲げる事項ができること** （１）利用言語の指定 （２）プロキシの指定 （３）利用プラグインの指定	○	

カテゴリ-名	試験科目及び その範囲	細　　　　目	適用試験	
			実技	筆記
	4. **電子メール・ メーラーの活用**	**1．電子メール・メーラーの基本操作に関し、次に掲げる事項ができること** （1）受信操作について ア．本文の参照 イ．ヘッダの参照 ウ．添付ファイル （2）送信操作について ア．新規メール イ．返信／全員へ返信 ウ．転送 エ．宛先の指定 オ．ＣＣとＢＣＣの指定 カ．添付ファイルの指定 **2．電子メール・メーラーの設定操作に関し、次に掲げる事項ができること** （1）受信に関する設定 （サーバのメール削除の有無指定等） （2）送信に関する設定 ア．本文のテキスト形式での送信指定 イ．本文のＨＴＭＬ形式での送信指定 （3）電子メール・メーラー標準操作について ア．受信メールの振分け イ．メールの検索	○	
	5. **インターネット の活用**	**1．情報収集に関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）検索サイトの利用 （2）リンク集サイトの利用 （3）情報の信頼性 **2．ビジネスコンテンツに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）ショッピングサイトの利用 （2）オークションサイトの利用 （3）情報配信サイトの利用 **3．インターネットのフリーサービスに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）個人向けサービス ア．メール イ．ホームページアカウント ウ．ストレージ エ．ブログ （2）団体向けサービス ア．コミュニティ イ．メーリングリスト ウ．メッセンジャー エ．ＢＢＳ **4．情報セキュリティに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）プログラム、データ等の防御の方法 （2）データ等を攻撃する種類 **5．情報モラルに関し、次に掲げる事項の知識を有すること** （1）情報発信者のモラル ア．情報漏えい イ．著作権 ウ．アクセシビリティ エ．匿名発言・発信 オ.情報受信者のパソコン環境 （ア）利用する電子メール・メーラー （イ）利用するブラウザ （ウ）利用するOS （2）ネットワークを利用する場合におけるモラル（データ通信に係る負荷の理解等） （3）個人情報保護について		○